

手城川流域における浸水対策について - 概要版 -

6. 次期出水期(平成30年6月)までに取組む対策及び中長期的な取組方針(ロードマップ)

番号	区分	取組方針	項目	事業主体	検討・実施する内容	次期出水期(平成30年6月)までに取組む対策と中・長期的な取組方針																備考	
						平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度(以降)					
						~6月	~9月	~12月	~3月	~6月	~9月	~12月	~3月	~6月	~9月	~12月	~3月	~6月	~9月	~12月	~3月		
(1)	全 股	①	測量・調査・検討	市	手城川流域の測量・調査(内水氾濫シミュレーション等)																		
(2)		市		流域外から流入してくる水の排水対策の検討																			
(3)	ハ ード 対 策	—	河川改修	県	「手城川水系河川整備計画」に基づく河川改修															継続して実施			
(4)		③	流出抑制型施設	雨水貯留施設	市	雨水貯留施設に流出抑制施設を設置														一部実施済み			
(5)		市			雨水貯留施設の堆積土除去																		
(6)		④	流下型施設	水路施設	市	公共用地等に雨水貯留施設を整備																	
(7)		市			既存水路の増強(水路改修、新設水路整備など)																		
(8)		市			※ 排水ポンプの整備(局地排水用小型ポンプ、逆流防止施設など)	(1),(2)の結果を踏まえて、有効な対策の実施を判断する																	
(9)		市			既設水路のネットワーク化(既存水路を利用した流出量の分配)																		
(10)		市	既存水路の合流部平面形の見直し																				
(11)		④	対策工の継続検討	県・市	(6)~(10)やその他の対策の継続検討(県・市が連携し、内水氾濫シミュレーション等の結果を踏まえ有効な対策を継続して検討)																		
(12)		ソ フ ト 対 策	③	効率的効果的な施設運用	県・市	既設雨水貯留施設(農業兼用)やため池の低水位管理																	
(13)	③		維持管理体制	出水期前	市	排水施設の重点的な清掃による流下能力の確保・保持															継続して実施		
(14)	県・市			排水機場の点検及び稼働確認の実施																	継続して実施		
(15)	③		降雨前	市	農業用樋門及び堰の適正運用																継続して実施		
(16)	⑤		出水期前	県	水位計・監視カメラの設置と常時監視(手城川)																		
(17)	⑤		情報収集・提供	降雨時	市	水位情報による警戒パトロールの実施																継続して実施	
(18)	市				冠水した道路への通行止め対応の実施																	継続して実施	
(19)	市				降雨や幹線水路の水位情報などに基づく注意喚起																		継続して実施
(20)	市				住民等からの降雨情報の収集・確認・対策への反映																		継続して実施
(21)	⑤		自動・共助の支援	平常時	市	浸水が想定される場所の情報提供																継続して実施	
(22)	市	防災資器材の貸与(自主防災活動の支援)、土のうの準備(応急対応)																			継続して実施		
(23)	市	※ 止水板の設置に対する支援			(1),(2)の結果を踏まえて有効な対策の実施を判断する																		
		⑤		※	各戸貯留施設の設置に対する支援																		
手城川流域浸水対策会議				県・市 土地改良区	進捗状況や対策等の確認、定期的なフォローアップの実施		8/9	10/19/11/21													1回/年程度の実施		

※：内水氾濫シミュレーション等(1),(2)の結果により実施の可否を判断する内容

凡例 →：実施予定 —：これまでも実施しており、引き続き実施 ●：検討結果により実施の可否を判断 ■：実施可と判断したものについて対応 →：運用 ：新たに次期出水期(平成30年6月)までに対応する項目